

べきだ」,そしてIの「一生独身でいるより,結婚したほうが良い」が高い数値を示している。それゆえ,第1主成分は家庭内の夫と妻の役割分業を表す項目を多く含んでいることから「伝統的性別役割分業」を示すものとして,第2主成分は「伝統的結婚観」をあらわす尺度として考えて良いであろう。

表8-2は上記の「伝統的性別役割分業」と「伝統的結婚観」についての未婚の男女別年齢別の平均値の比較である。伝統的性別役割分業については,全年齢で見ると男性が男女の役割分業について正の値(0.011)であるのに対し,女性は負(-0.204)を示している。また伝統的結婚観についても,男性は伝統的(0.353)であるのに対し,女性は非伝統的(-0.852)である。男性は男女の役割分業においても,結婚についても伝統的な価値観をもつものに対し,女性はそれとは逆に性別役割分業でも結婚においても非伝統的な価値観をもつようである。

表8-2 年齢別男女未婚者の価値観に関する平均の比較

	年齢	男性			女性		
		平均値	標準偏差	回答者数	平均値	標準偏差	回答者数
伝 統 的 性 別 役 割	20-24歳	0.289	1.306	18	-0.024	0.869	14
	25-29歳	0.096	0.964	17	-0.329	0.872	28
	30-34歳	0.203	1.108	14	-0.199	0.799	10
	35-39歳	0.468	0.925	7	-0.265	-	1
	40-44歳	-0.677	0.407	2	-	-	-
	45-50歳	-0.315	-	1	-	-	-
	全年齢	0.011	0.942	59	-0.204	0.847	53
伝 統 的 結 婚 観	20-24歳	-0.002	0.930	18	-0.188	0.999	14
	25-29歳	0.235	0.759	17	-0.047	1.017	28
	30-34歳	0.177	1.185	14	-0.713	0.725	10
	35-39歳	0.732	0.746	7	-2.461	-	1
	40-44歳	0.789	1.132	2	-	-	-
	45-50歳	0.186	-	1	-	-	-
	全年齢	0.353	0.950	59	-0.852	0.914	53

注：平均値は,伝統的性別役割については第1主成分の,伝統的結婚観は第2主成分の固有値である

伝統的性別役割を年齢別に見てみると,男性は20-24歳のグループから35-39歳までのグループで正の値を示している。先に行った東京都品川区の調査では,若年の20歳代前半では非伝統的な傾向がみられたが,柴町では20歳代後半よりも伝統的な傾向を示している。30歳代になり,加齢していくと保守的な傾向を示すのは品川区と同様である。それに対し,女性は,どの年齢でも非伝統的な傾向を示している。男性では40歳代,女性では30歳代後半では未婚者が少なくなるため,回答者数が激減し分析結果がえられなかったのは残念である。

伝統的結婚観については,男性は20歳代前半で弱い負の値を示しているが,その他の年齢ではすべて正の値である。それに対し,女性はすべての年齢で負の値である。特に30歳代の男女の対比が面白い。男性の30歳代後半では伝統的価値観をととも強く示すものに対し,女性は30歳代で20歳代よりもより強い非伝統的な傾向をもつようになる。

2000年の国勢調査によると、30歳代前半の女性の26.6%が男性の42.9%が未婚である。また、30歳代後半でも女性が13.8%、男性の25.7%が未婚である。わが国の少子化のもっとも大きな要因は、20代後半から30代後半の男女が結婚をせず再生産活動に移行しないことである。

今回の調査からも明らかなように、男女の間には夫と妻の役割分業についての考え方や価値観、そして結婚観についての男女差が大きく存在している。男性は伝統的な妻として母としての役割を担ってくれる女性を求め、年齢が上昇すればするほど強くなる傾向がある。しかしながら女性は伝統的な役割分業ではなく、夫との新しい時代の関係を求めているのである。結婚についても、同様である。このように男女間での考え方に関する乖離がすすめば、晩婚化や非婚化を食い止めることは不可能となろう。

10. 栄町

栄町における子育て関連の生活環境の評価を尋ねた結果を整理したものが図10-1である。これによると、子育て関連生活環境に関して、満足と不満の中間値であると5を回答した者が34人(28.3%)と最も多く、回答者全体の平均値も4.7であった。また、不満の割合が高い回答者(1~4と回答した者)の割合(37.5%)と、満足の割合が高い回答者(6~9と回答した者)の割合(34.2%)はほぼ同じ水準であった。

図10-2は栄町における居住継続の意向を尋ねた結果である。「住み続けたい」と回答した者が32人、「住み続けたくない」と回答した者が32人、「どちらともいえない」とした者が59人であった。

「住み続けたい」とする理由のトップは「土地になじみがある」というものであり、「親が近くに住んでいる」、「友人・知人が近くにいる」など人的な関係を理由にした回答が多くなっている。一方、「住み続けたくない」とする理由では、「仕事・通学に都合が悪い」、「買い物、レジャーに不便」といった立地条件を挙げる回答が多くなっている。

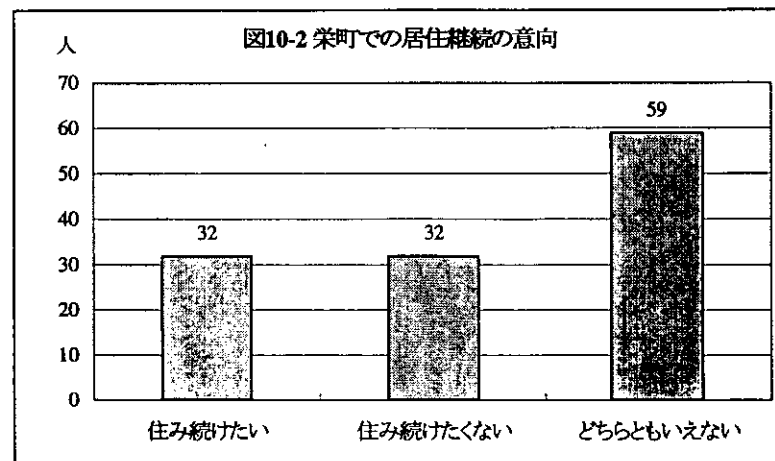
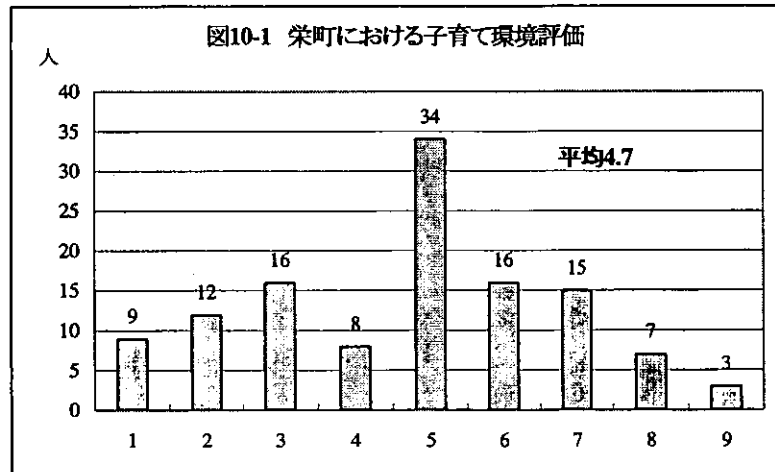


表10-1

●住み続けたい理由

- ①土地になじみがある(62.5%)
- ②親が近くに住んでいる(43.8%)
- ③仕事・通学に都合がいい(37.5%)
- ④友人・知人が近くにいる(21.9%)
- ④環境が良い(21.9%)

●住み続けたくない理由

- ①仕事・通学に都合が悪い(68.8%)
- ②買い物、レジャーに不便(59.4%)
- ③土地に愛着がない(28.1%)

IV. 自由回答一覧

1. 夫婦票

●問42 子どもを育てる上で良いと思うもの

- ・子供が中学生になるまでの医療費控除
- ・時間外保育
- ・土曜日や夏休みに学校で行う、勉強以外のクラブ活動的な楽しい活動
- ・土曜日一日ヒマしているので、学校を開放して補習授業や遊びの体験等、やって頂きたい。
- ・近くの公園はつまらないから遊びに行かない。だからいつもだれも遊んでいない。楽しい公園になれば子供も集まり、楽しく遊べるのではないかな？
- ・夏休み、町でツアーを組んでキャンプ等の楽しさ、集団生活、自給自足の生活やらせたい。冬休み、町でツアーを組んでスキー等の楽しさ、集団生活お願いしたい。家では連れていかれないし、親とはなれることも大事だと思う。
- ・放課後、子どもたちが遊べるような公的施設(親が働いていなくても)
- ・母親が息抜きできる場所の確保
- ・産婦人科の病院
- ・職場に託児所。安く子供を預けられる場所
- ・ベビーシッターの様に自宅で子供の面倒を見てくれる経験、又は資格のある方を派遣・紹介してくれる様なところ。乳幼児に限らず、中学生位の子供まで親の居ない間、一緒に自宅で過ごしてくれる様な方を。
- ・お母さん達の中で必ず出るのが医療の充実です。栄町に小児科・耳鼻科・眼科がほしいです。
- ・風邪くらいでもあずかってくれる保育施設
- ・公的施設の中で、語学を自然に勉強できる状態の場所と人材
- ・子育てしている母親の精神面で支えになってもらえる場所。町で相談のシステムもあるようですが、民生員の方たちだと相談しにくい事もあります。私は農村地区で子育てしていたので、子育て中の母親に対しての理解があまりなく、色々な人に心ない事を言われました。家庭の状況はみんな違うし、あまり相談できず、かなり辛かったです。そんな時、公平な立場でアドバイスして下さる人が近くにいてくださったら良かったと思います。(夫は良き相談者でしたが、実際には家にいるわけではないので。親戚の人も結局は他人事なので)
- ・栄町の生涯学習講座のジュニア版があれば、土日の小中学生の活動が広がるのでは？
- ・チャイルドシート購入時の補助
- ・24時間あずけられるような保育施設
- ・子供が行き詰まったりした時、親同士で意見や体験を語り合えたり、相談できるグループ。又、子供(小～高校)が自分の意志でいける”ほっとサロン”のようなところ
- ・病院が隣接している保育施設。子どもが風邪をひいたくらいで、会社を休むのは仕事をしてお金をもらっている以上、できることではないと思うから。

- ・乳幼児の通院医療費の全面援助(例えば3歳以下対象とか)
- ・児童館
- ・子供を持つ親(母親)をよく理解してくれる職場。子供を持つ親が気軽に行けて遊べる施設。
(あるのかも知れないが情報が無い！調べてまでは行く気がしない)
- ・24時間、無料で子供の病気について、くわしく教えてくれる所
- ・小学生頃までは、医療費こうじょがあってもいいのではないかと思う。予防接種(任意)の補助金
(1回¥7000くらいかかってしまうから)
- ・子どもが病気(風邪、発熱及び伝染性の病気)の際、子どもを見て預かってくれる公的施設
- ・学校や幼稚園の先生へむけての障害のある子についての研修。
- ・どの様な時間、曜日に関係なく診療してくれる医療機関
- ・寒い日や雨の日でも子どもたちがあそべる体育館や、広場の屋内施設があつたらいいです
- ・土日に子供を預けられる公的施設
- ・春、夏、冬休みの間、お昼(給食)などがあればいいと思う。(希望者のみ)
- ・今の子どもは少人数でテレビゲームで遊ぶ事が多いので、他人の気持ちを理解できないため、
大きくなって他人とコミュニケーションがとれなかったり、不登校やいじめが増えている原因とも
なっている。大勢で外で遊び方を知らないなので、学校の庭でも開放して子どもの興味をひきだ
す遊びを教えてくれる場所
- ・体操教室。学童保育の延長(時間的に夜8時頃まで)
- ・公立の幼稚園がほしい！！小さな子供(1.5才~5才)が安心して遊べる遊具を公園に造つて
ほしい！！
- ・通園や通学路(その他の道路を含めて)や公的施設まで、子どもが友だちと安全に出か
けられるように、車道と歩道をきちんと識別できるように整備し(スクールゾーンなど
を)充実させて欲しい。
- ・栄町内、外へのドラムバス経路や主に成田への交通アクセスの充実
- ・小学校区ごとでいいが、スポーツや体験などをさせてもらえる企画。土よう日や夏休み、冬休み
に高校生や大学生あたりの人が講師になって。

●問50 この調査の内容に関連してご意見・ご要望

- ・子育てを母親一人に負担が多すぎる。もっと老後時間に余裕がある方等、手伝っていた
だき、地域で協力できる環境になると良いと思う。父親はリストラされる事がないよう
仕事に専念せざるをえない世の中。もっと父に育児参加と言っても、現実不可能である
こと知ってますか？
- ・保育園に関して:公立の保育園が特定の宗教・寺院に付属しているのはおかしい。また、変だと
思います。その為、私立の幼稚園に入れる事になってしまいました。近い将来、町営の保育
園・幼稚園を建てて下さい。

- ・他の市に比べて、栄町は子供に対する援助（たとえば児童手当・医療費など）が少ないと思います。私はもう小さな子供がいないけれど、これから産む人達にとっては、やはりサービスの拡大が望ましいと思いました。（他県から越してきたので、栄町に住んで内容の低下におどろきました。）
- ・第2近隣公園もすべり台があったら…と思います。アスレチックみたいな遊具は小さい子供には無理なので、日中は小さい子供がまったく来なくて、広い公園で誰も居なくてもいいです。犬の散歩が多く、フンが砂場にある。すべり台作ってほしいです。
- ・パート等をしたくても、土・日・祝できる方というのが多く見られるので、休日保育は強い願望です。
- ・私達は双方とも両親が遠くに住み、2年半前こちらに越してきた時、病院へ行く時など、子供の一時預かりの様な施設がないか問い合わせた時、ないとの事でこの先どうしようと思った事を思い出し、今はさかえ乳児保育園などができ本当に助かっています。子育てヘルパー派遣（知りませんでした）や、さくらんぼの活動など…子育て中の人にもっと伝えればと思います。でも栄町は子供への歯のフッ素塗布など、いろいろ充実していると思います。あとはぜひ小児科・耳鼻科・眼科の誘致をお願いします。あとお願いですが、保健センターで健診等行う際、子供・母子手帳等大きな荷物を抱えたまま、せまい部屋をあちこち移動させられるのが本当に大変で苦痛です。事情はあると思いますが、できるだけふれプラで行うか、保健センターで行う場合はもう少し要領よく、行っていただけたらありがたいです。
- ・栄町の未来を背負う子供達のために何事にも早急な対応を求めます。将来、子供達が栄町に住みたいと思うような町作り、行政をお願いします。
- ・子育て支援サービスでの要望ですが、この栄の町ですばらしい建物（ふれプラ）があるのに、子育ての中で文化・芸術で無料での貸出しがしてある部屋がないし、小～高校生まで利用したいと思っても、親等が最後の点検や部屋代の使用料を払う事になっていて、使える時間も学校が終わってから使うのだから、午後と夜間に5時でくぎっているのはおかしいと思う。
- ・ベビーカーで歩きやすくしてほしい。（今後、歩道を整備する際、バリアフリーにする等）
- ・子供二人まではあたり前だけど、3人からは何か援助等、何かあれば産もうと思える人が多くなるのでは無いかと思う。
- ・この調査で「希望」と「現実」がかけはなれていることに気づいた。
- ・10年前に引っ越して来た時に比べ、学童クラブ（酒直台）ができ、幼稚園での延長保育などもあり、かなり整備されてきていると思います。でもフルタイム（正採用）の女性は少なく、PTAや子供会でも”おかあさんの仕事”という感じです。仕事や家事でもっと男女のバランスがとれてくればよいと思います。
- ・中学校に柔道部を作って欲しい。通学（高校以上の場合）の利便性の為にも、JR成田線の複線化を実現できるよう、検討して欲しい。

- ・現在、子供が4人いるが、少子化が進む原因がわかるように思う。それは国・県・市が少子化対策を何もしていないからだ！こんなに生活しづらい時代に子供をたくさん育てようという気持ちが出ないのは当然である。もっと積極的施策を講じろ！
- ・この調査結果が育児や子供（子育て）教育に対して、何かの切っ掛けとなり、サービスの充実が期待されるところです。住民のニーズがどこにあるのかを行政はしっかりと見きわめてほしいです。
- ・子供がいても気にしないで仕事にうちこめる環境作りをしてほしいです。
- ・安心して生活できる地域作り。
- ・態度の悪い子どもの補導の強化をしてほしい。
- ・子どもをもちたくても、もてない人達の相談所や病院等を町で造っていただき、医療費や税金の負担を少なくしてほしいです。
- ・保育施設や子育て支援事業のアンケートは参考にして、”ぜひ活用してほしい！”また、今の栄町の施設に対して一言！せめて、フレプラや保健センターに1カ所は赤ちゃんと入れるトイレ、おむつ替えができる場所を作ってほしい！子育て支援を言うわりに、そんな基本的な場所が無いのはおかしいです！
- ・私は他の市で保育士として働いています。栄町もドラムスなどで、色々なサービスがあることを町民に知らせていくと、利用してみようと思う人が増えるのでは…今はまわりに相談できる人も少なく、若い親も多いので保育園等での地域の交流が出来る場があれば、若い親も行きやすいと思う。
- ・子供は社会的環境が整っていれば、安心して育てられると思います。仕事も安心してできます。時間外も2重保育にならない様にして頂きたいですので、保育園・学童保育の延長を希望できる内容、アンケートにして欲しかったです。栄町で働ける方は恵まれていると思います。ほとんどは栄町外でないと少子化は防げません、経済的に！
- ・子供が生まれて初めて栄町が住みづらい町だと気づきました。公園は未園児までの小さな子どもにはあぶない遊具ばかりで、安心して遊ばせることができません！！幼稚園や税金は高く、これでは少子化になってもあたりまえ。町民が出した答えが少子化だと思います。私もそうだからです。子供にやさしい町づくりが繁栄の第1歩だと確信しています。
- ・子育てについて、夫にも家事・育児に協力してほしいと思っても、「協力するべき」という情報はやっぱり母親の方へしか入って来ない。結局、使えなければ何も変わらないし、楽にはならない。父親に対して直接働きかける機会や場所をつくってほしい。
- ・夫である父親が家族と食事をするのは、たまたま休みである日よう日のランチと夕食の一週間に2食だけ…仕事のため、休みの日以外は子供とほとんど何も話せません。会えません。こんな家は他にあるのかしら…将来、子供になんらかの影響がないか心配です。

2. 独身者

自由回答：この調査の内容に関連してご意見・ご要望

- ・本当に住みにくい町だと思います。成田市の方がいろいろな面が進んでいて便利だと思います。どこでもそうだけれど、上の役職までこの意見が届かず、下の方の人達でまとめたり、判断してしまうから、そうじゃなくて町長が一人一人の意見や考え方をもっとまじめに受けとめた方がいいと思う。子育てを支援する生活環境はおくれていると思います。昔から住みにくい町田と感じているし、いっこうに良くなれない。親がいなかったら、もうここに住んでいない。
- ・いずれは市町村合併により、成田市となると思うので、その時に栄町がどの様に変化し、住民に対しどの様な対応になるのかを期待しています。まずはムダにお金を使わず、子供や高齢者への保護を優先に考えて頂きたい。このままの栄町には何も魅力は感じないし、故郷と語るのも嫌になる可能性があります。トラムの里やふれプラなど、理解に苦しむ物を建てるより、住民のニーズに応える政策を行ってもらいたい。この機会にどう変革するかをきちんと見たいと思います。
- ・栄町の中でも特に竜角寺台には何もない気がします。（郵便局、銀行、スーパー等）車が無いと生活がかなり不便なのは問題だと思います。早く成田市と合併した方が良いと思います。Yahoo!BBやケータイが圏外なものもかなり不自由です。
- ・子育て支援については、色々取り入れているのはわかるが、町として全て関わり、負担しているものが少ないように思う。（経済的な事もあるのだと思うが・・・）又、子育て全般を助けてくれるヘルパーさんは、保育士資格、幼稚園教諭資格のある人がいても良いのではないかと。（選択権は親にあるが、選択肢がもっとあっても良いと思う）
- ・”栄町”と言っても最寄り駅が小林の為、何も利益を感じない。安食方面ばかり活性化されているようで、むしろないがしろにされていると感じることさえある。この街が栄えないのは、すべて成田線が未だに単線であるところからきている。お座敷列車を走らせる余裕があるのなら、もっと本数を増やすべき。選挙になると誰もが「複線化を！」と唱えるが、いつも口さきだけ。努力の”ど”の字も感じられない。ただ広だけの庁舎の中で、一体何をやっているのか！と憤りを感じます。
- ・少子化を町で解決するのは難しいと思う。景気の悪い状態で給料もよくない親世代の状況を見ていると、子供は一人で充分だと思ってしまう。1人でもまともな学校を通わせられるかなど、不安だらけで私は結婚しても2人なんてとてもじゃないが、今の世の中の動きでは考えられません。町の中だけ物価が下がるわけじゃないので、景気回復するまで少子化は悪くなる一方だと思います。

V. 調査資料

1. 単純集計結果

- 1 - 1. 夫婦票単純集計結果 (53)
- 1 - 2. 独身者票単純集計結果 (90)

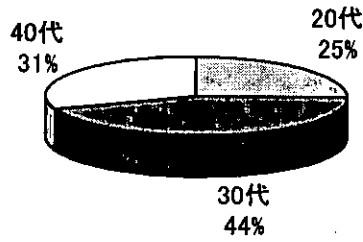
2. 調査票 (夫婦票、独身者票)

- 2 - 1. 夫婦票 (113)
- 2 - 2. 独身者票 (129)

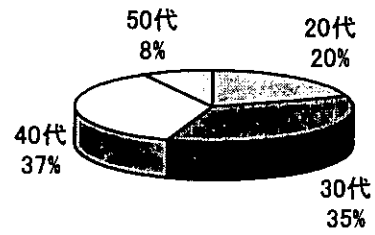
1-1. 夫婦票単純集計結果

問1 年齢分布

妻年齢分布(平均年齢:35.24歳)

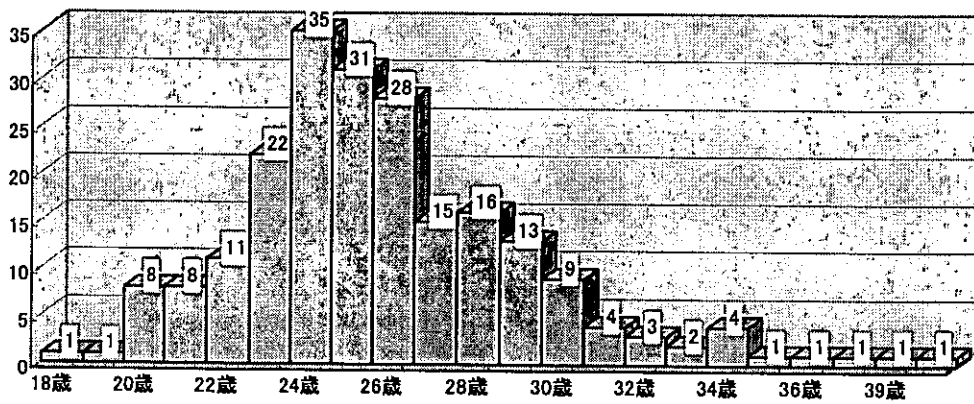


夫年齢分布(平均年齢:37.51歳)

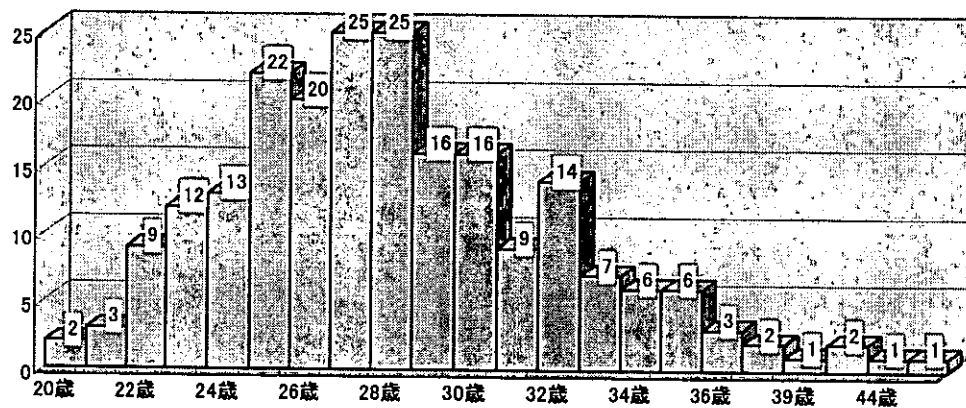


問2 結婚開始時期【結婚開始年齢】

妻結婚開始年齢(平均年齢:25.76歳)

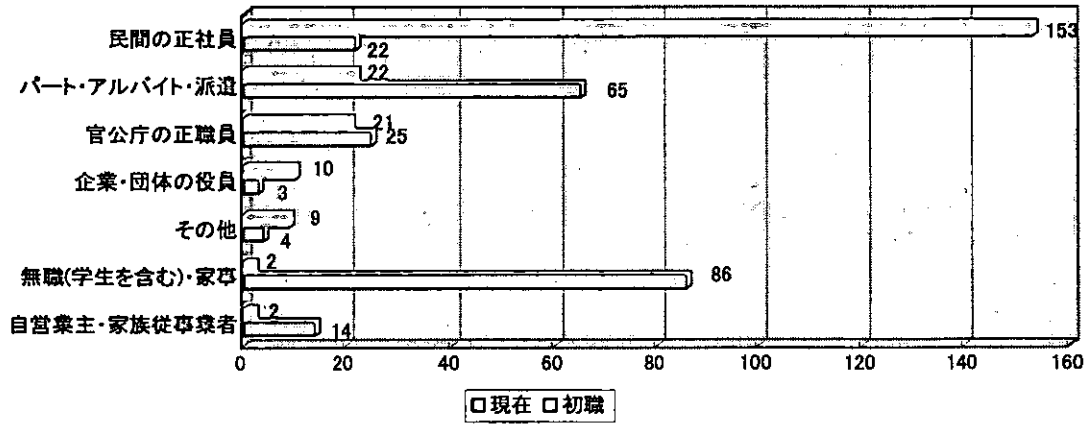


夫結婚開始年齢(平均年齢:28.09歳)

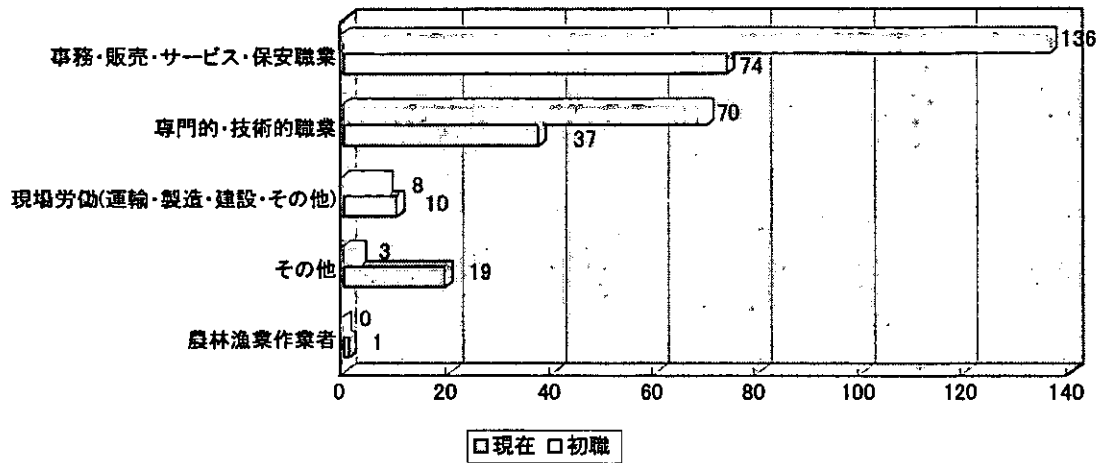


問3 妻の学校卒業後(中退後)最初についた仕事と現在の仕事

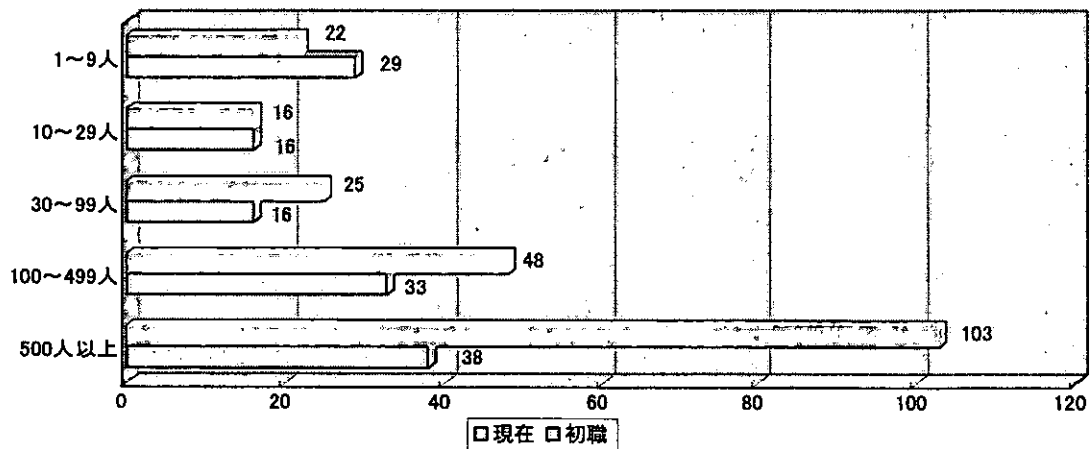
妻従業上の地位



妻職業

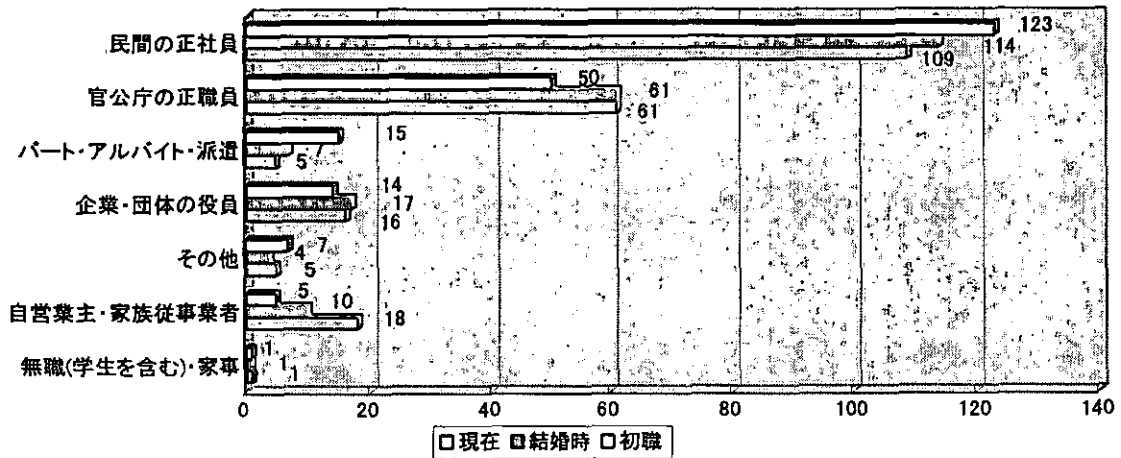


妻従業員数

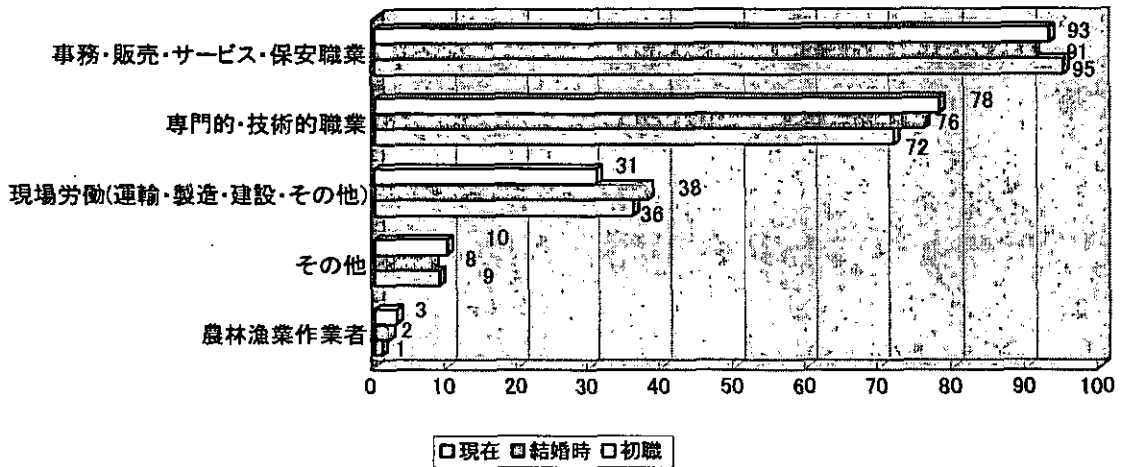


問4 夫の学校卒業後(中退後)最初についた仕事と結婚を決めた時の仕事、及び現在の仕事

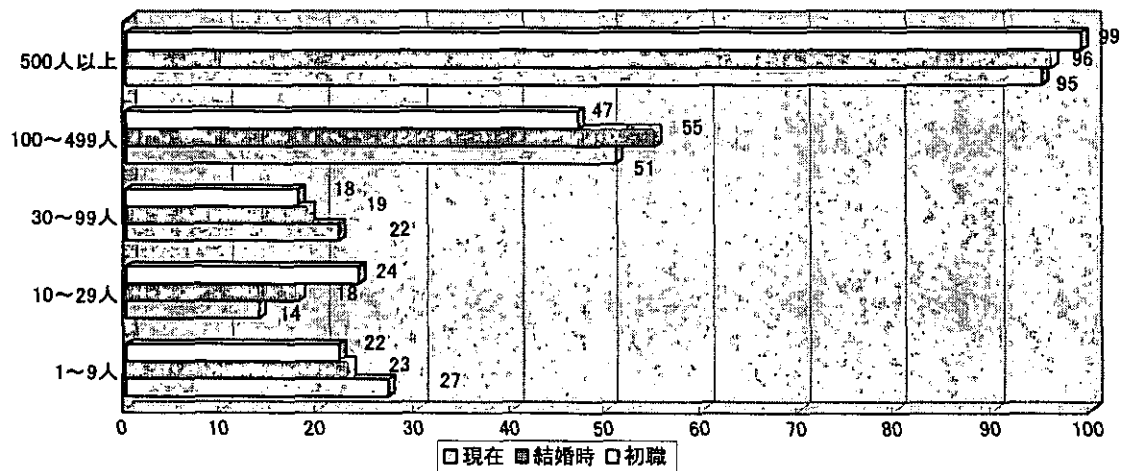
夫従業上の地位



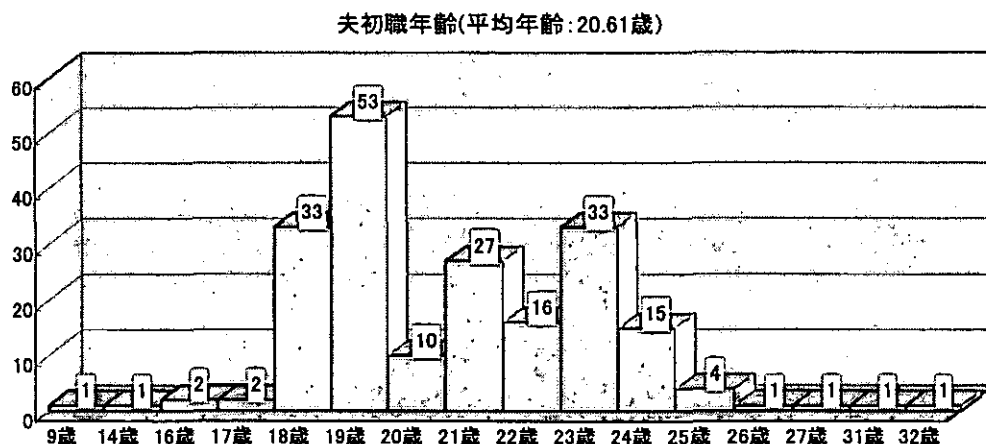
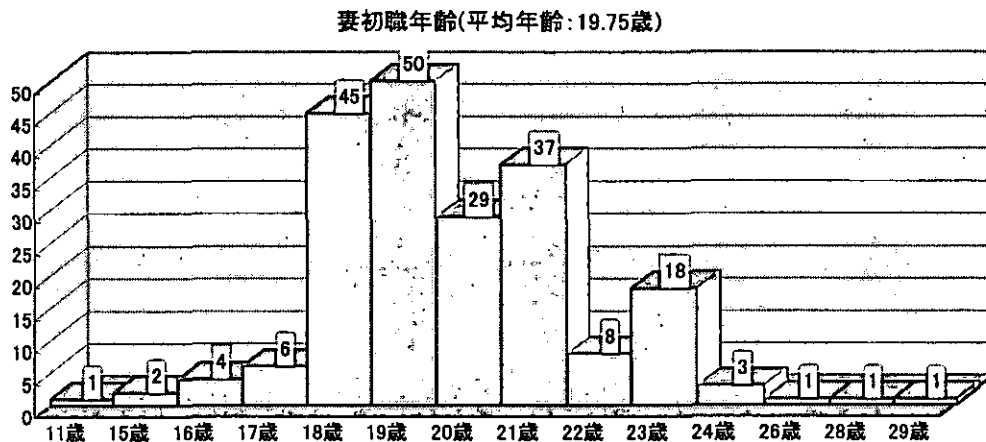
夫職業



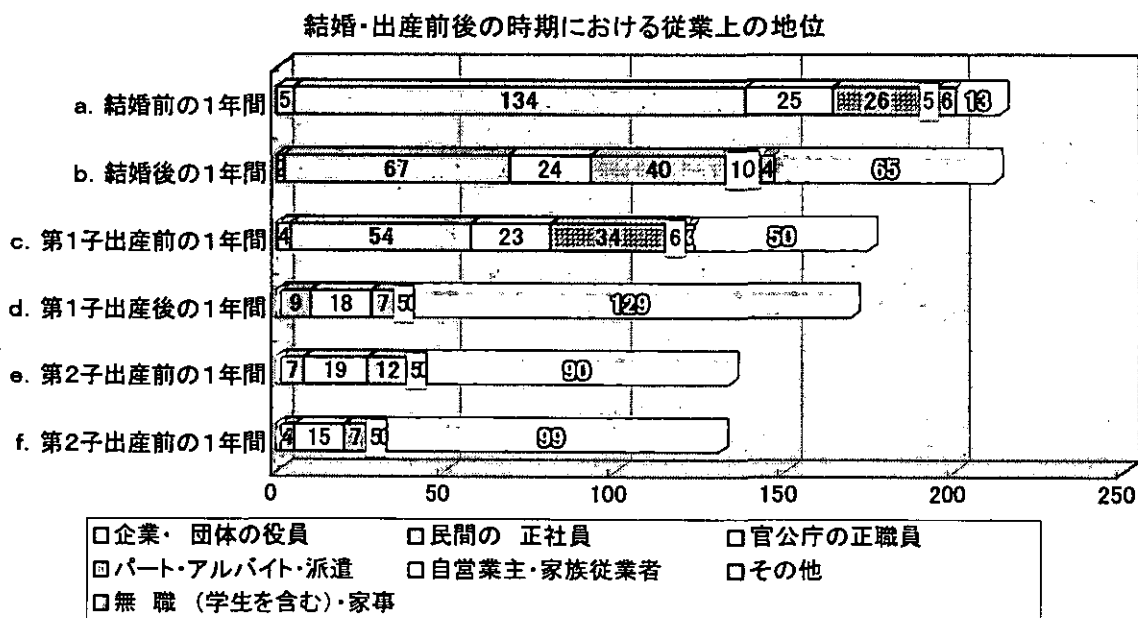
夫従業員数



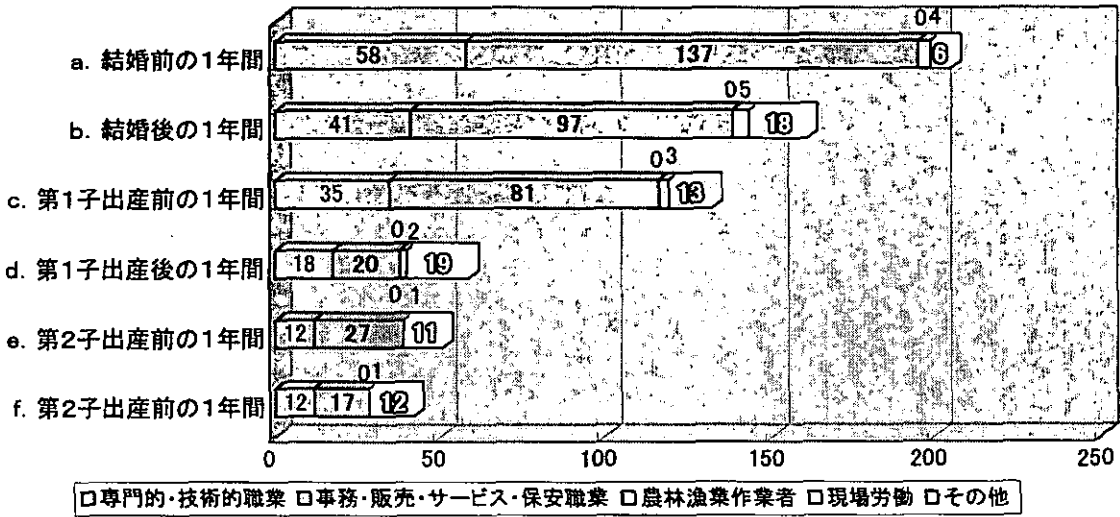
問5 学校卒業後(中退後)に初めて仕事についた時期【初職年齢】



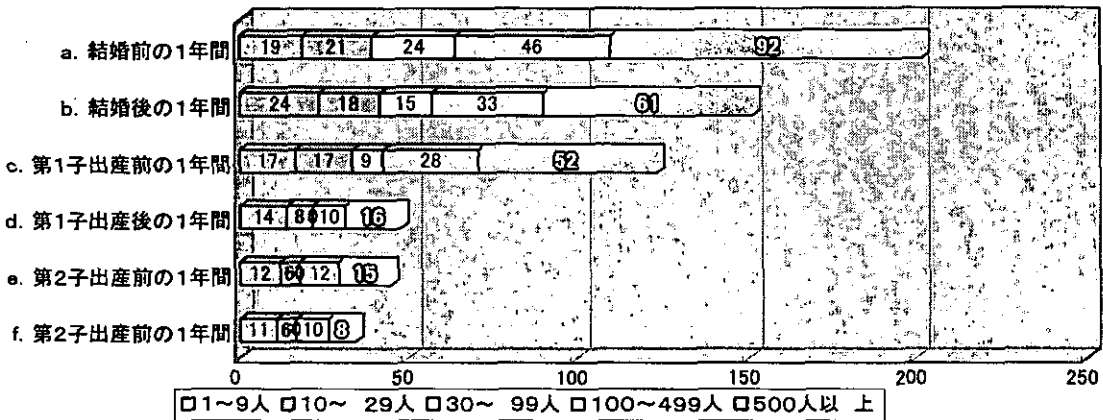
問6 結婚・出産前後の時期における仕事



結婚・出産前後の時期における職業

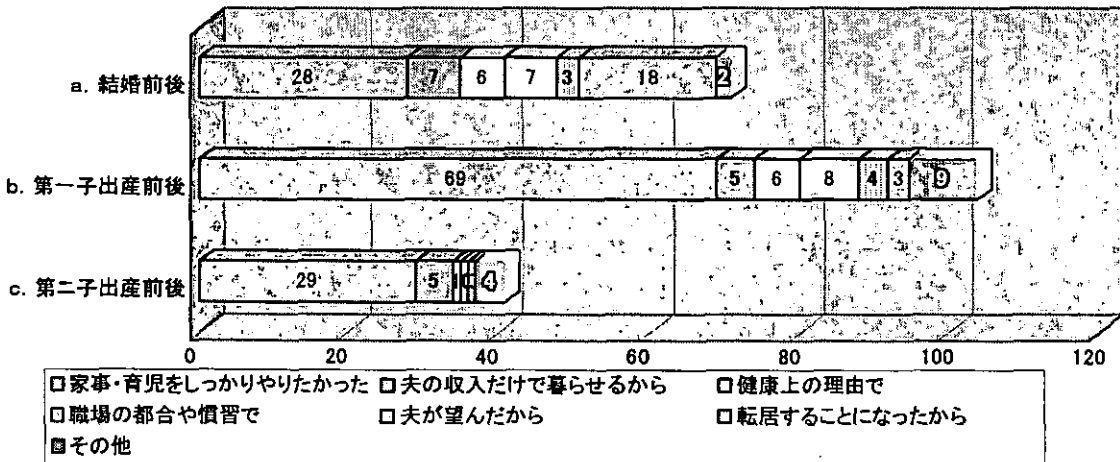


結婚・出産前後の時期における従業員数

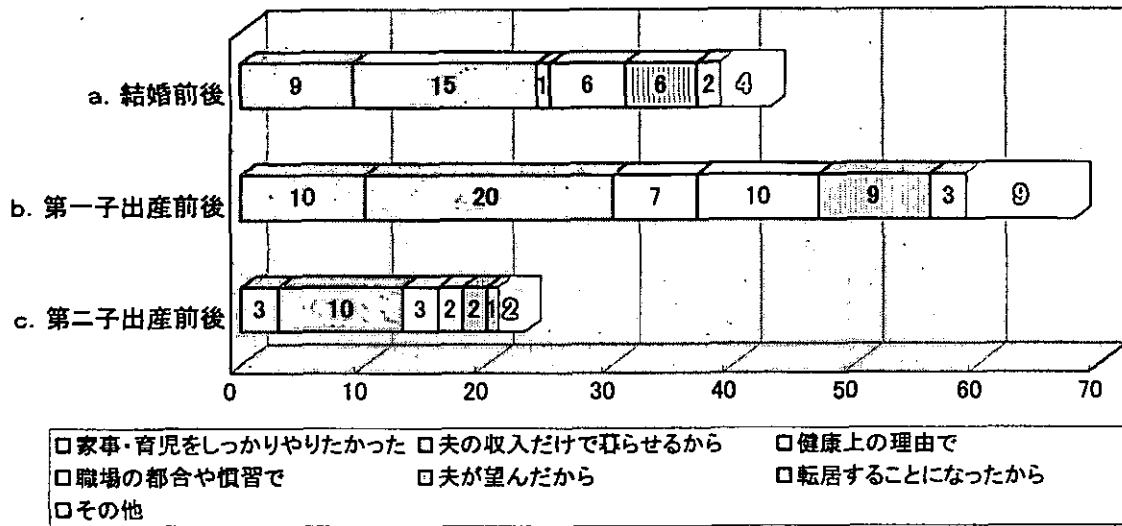


問7 結婚前後・第1子出産前後・第2子出産前後のいずれかで仕事を辞めた方限定

仕事を辞めた理由 第1の理由

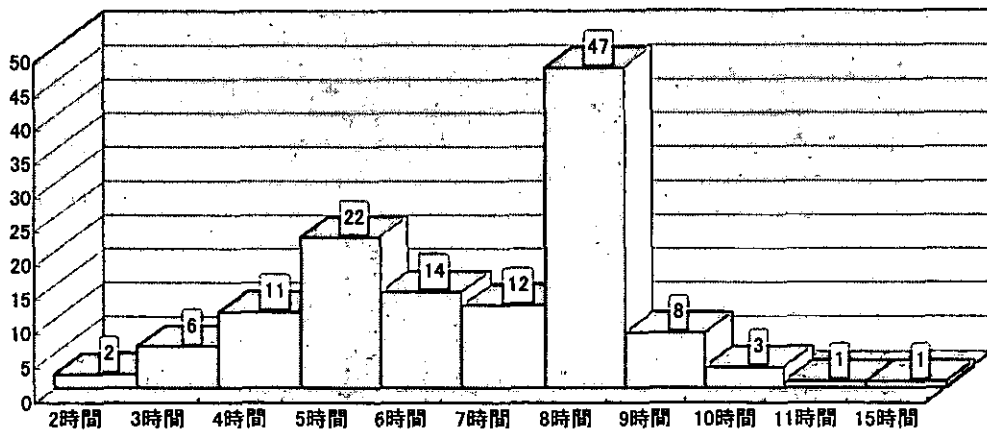


仕事を辞めた理由 第2の理由

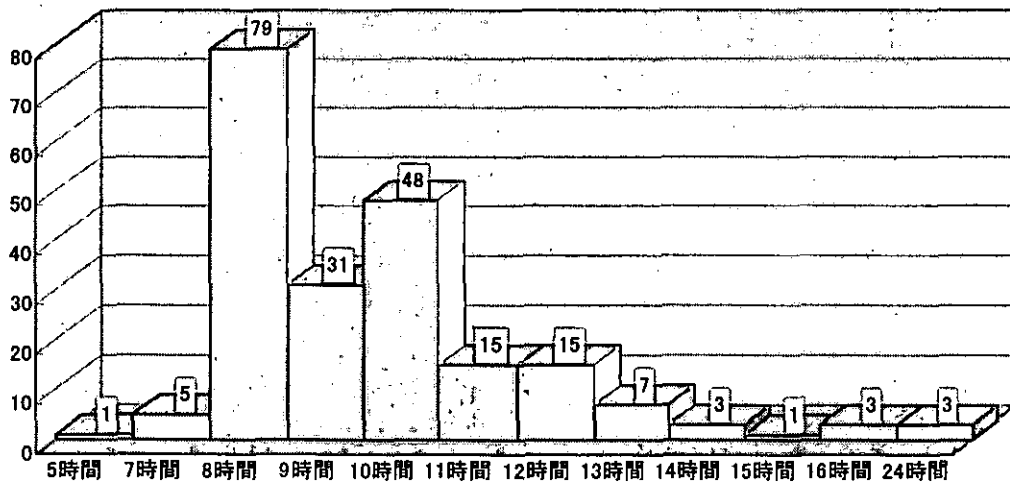


問8 (1) 一日の平均労働時間, (2) 一週間の平均労働日数, (3) 平均的な帰宅時間

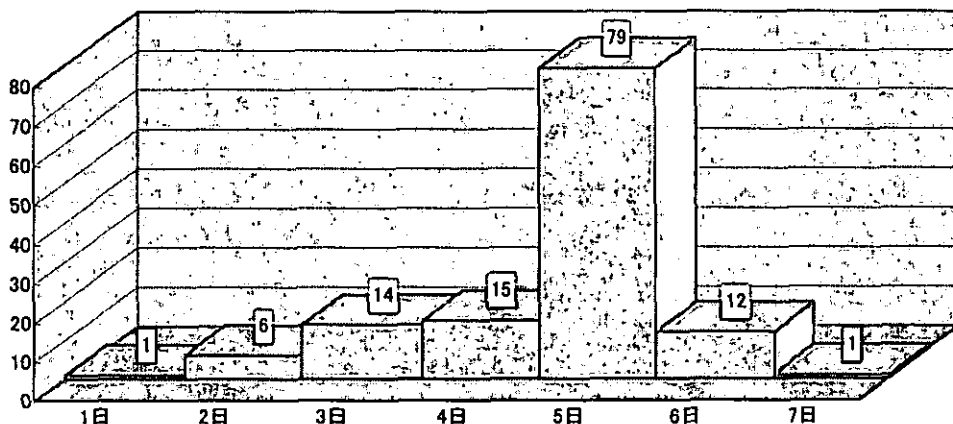
妻一日の平均労働時間(平均:6.67時間)



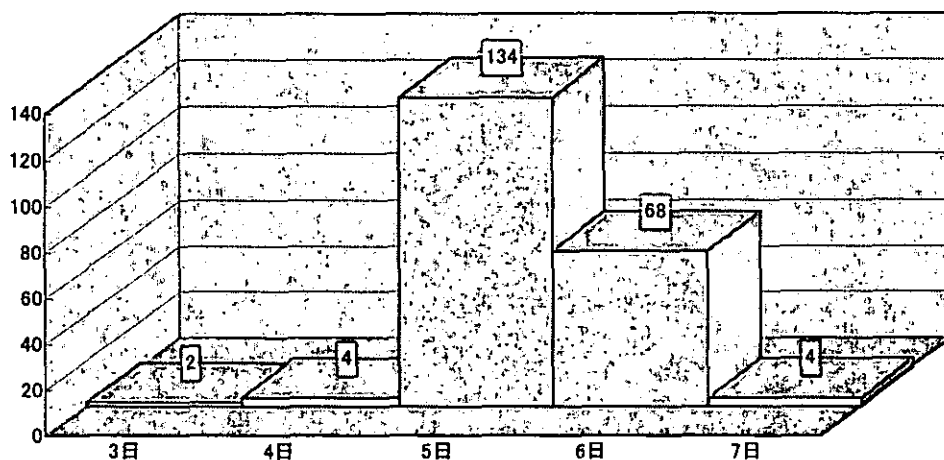
夫一日の平均労働時間(平均:9.68時間)



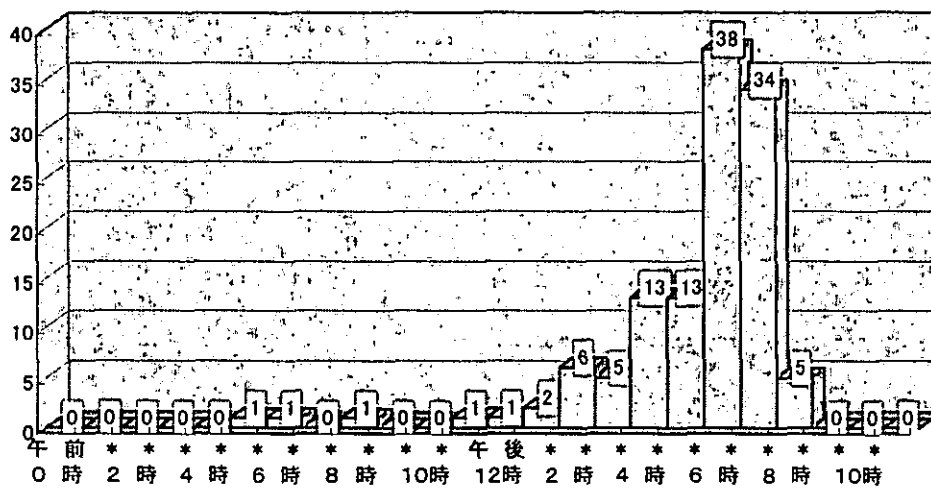
妻一週間の平均労働日数(平均:4.6日)



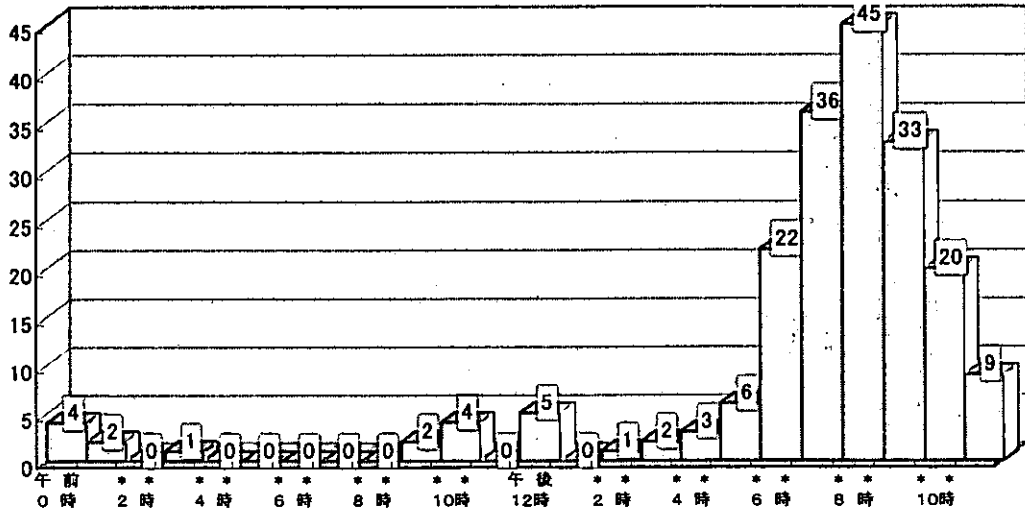
夫一週間の平均労働日数(平均:5.32日)



妻平均的な帰宅時間

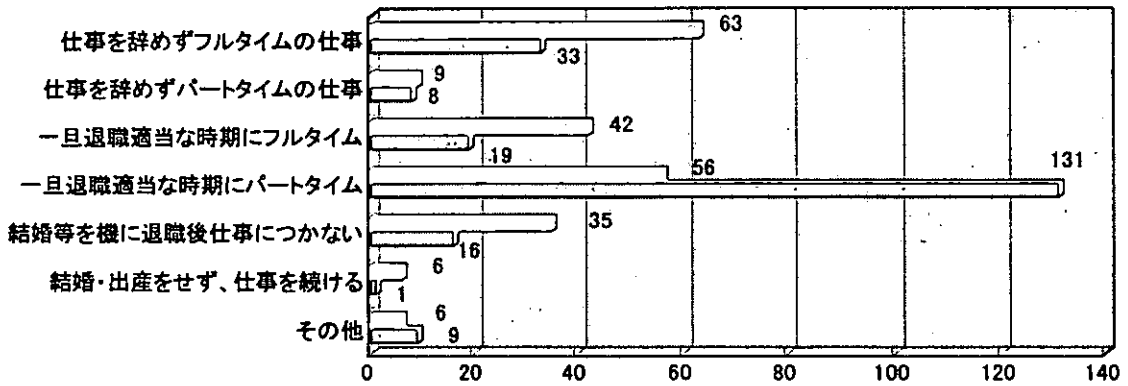


夫平均的な帰宅時間



問9 女性の生き方のタイプ

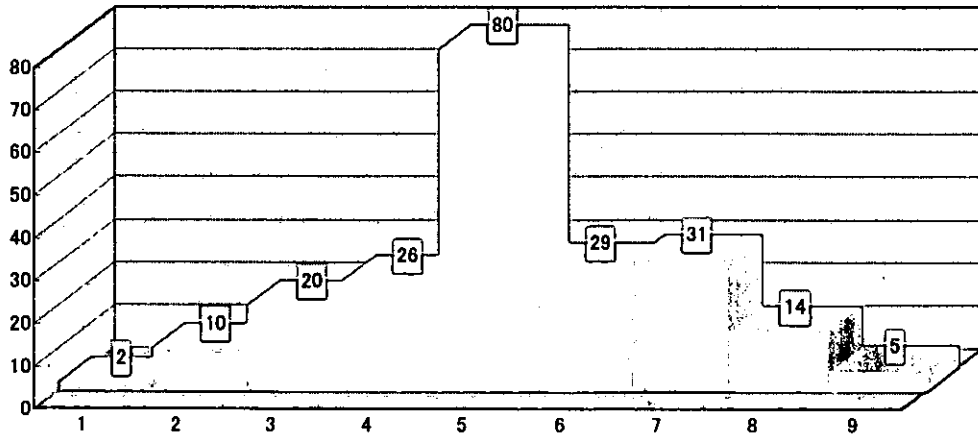
女性の生き方のタイプ



□(2)実際になりそうな人生のタイプ □(1)理想とする人生のタイプ

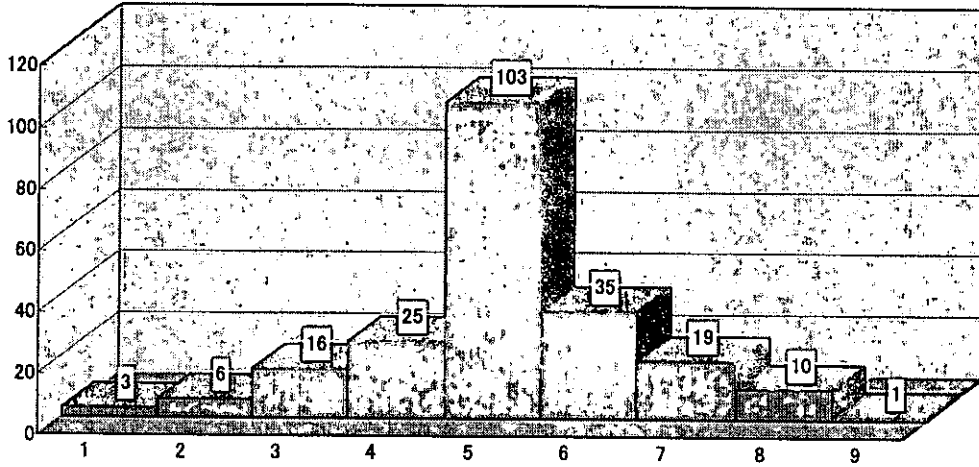
問10 15歳の頃の家庭の暮らしぶり(当時の平均的な家庭と比較)

15歳の頃の家庭の暮らしぶり(平均:5.22)



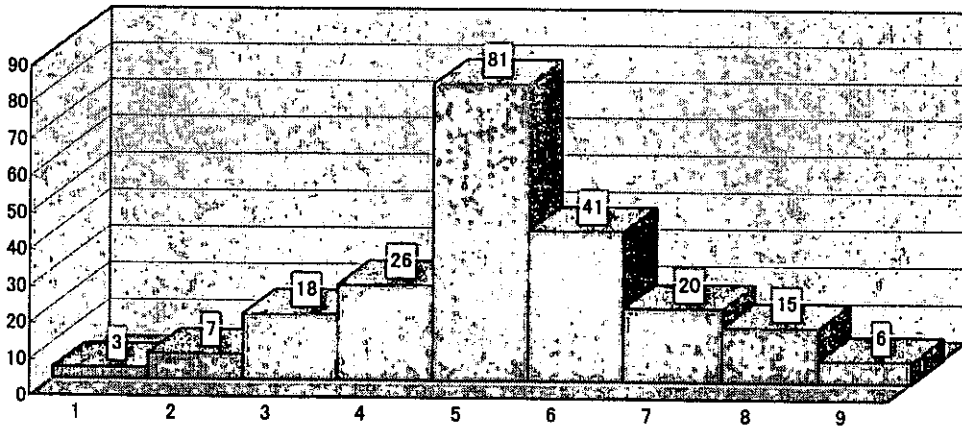
問 11 現在の暮らしぶり(世間一般と比較)

現在の暮らしぶり(世間一般と比べて)平均: 5.09



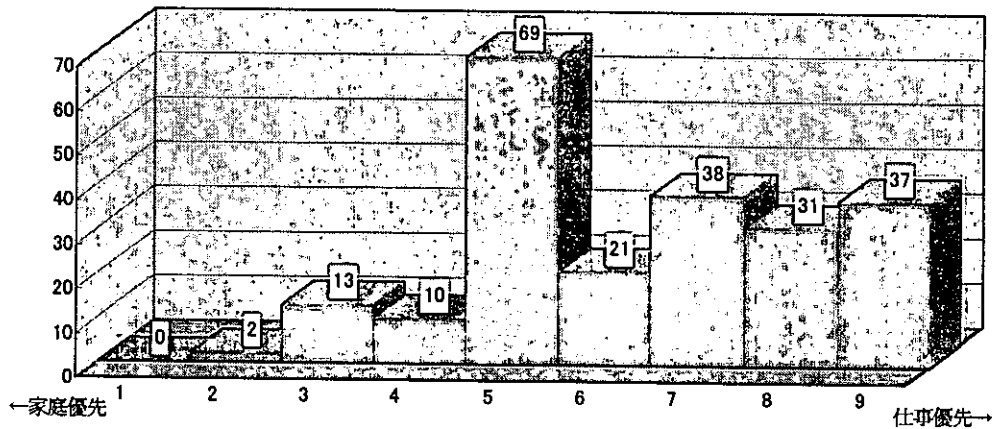
問 12 現在の暮らしぶり(15歳の頃と比較)

現在の暮らしぶり(15歳の頃と比べて)平均: 5.25

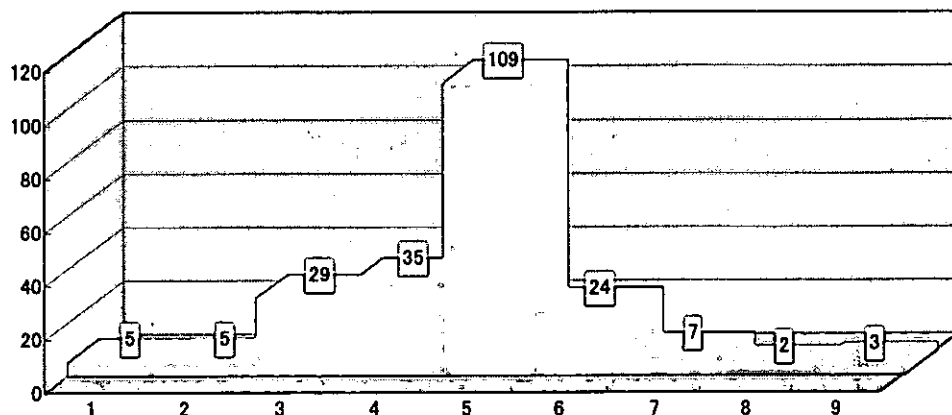


問 13 15歳時の父親のタイプ, 望ましい父親のバランス(仕事と家庭)

15歳の頃のあなたの父親(平均: 6.33)

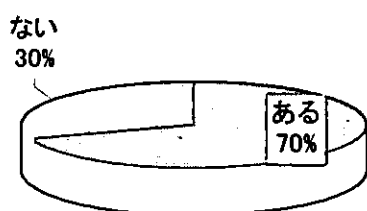


あなたの望む父親(平均:4.67)

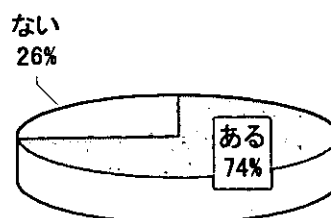


問 14 親との別居経験の有無, 【離家年齢】, 別居理由, 別居前居住地

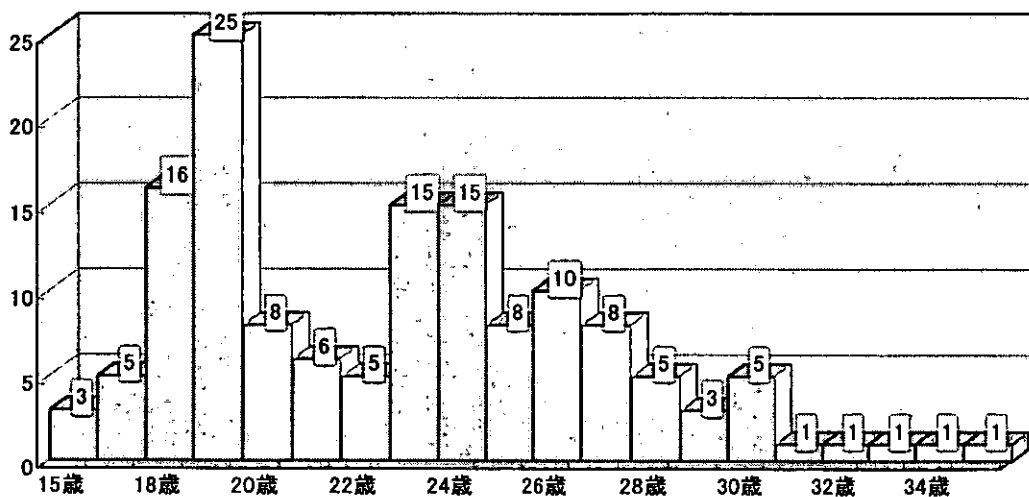
妻別居経験の有無



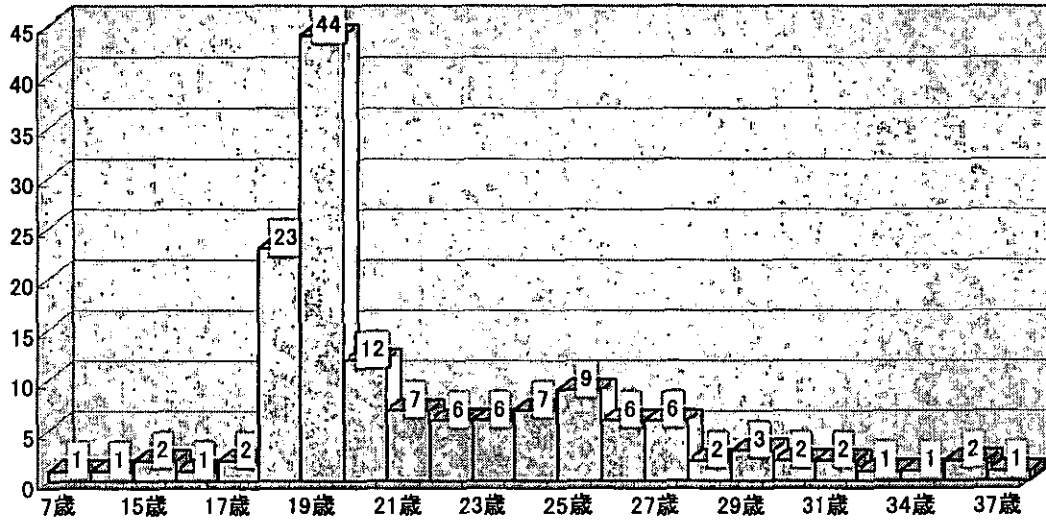
父親別居経験の有無



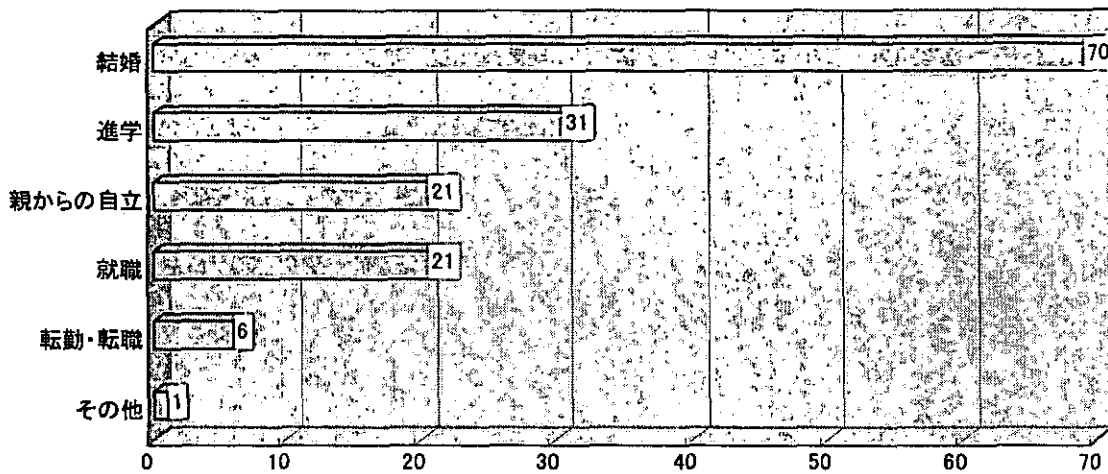
妻離家年齢(平均年齢:22.64歳)



夫離家年齢(平均年齢:21.48歳)



妻別居理由



父親別居理由

